

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	作業療法評価学実習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	403号室
担当教員	本家 寛文	実務経験と その関連資格	作業療法士として身体障害者領域・精神障害領域・老年期障害領域で勤務し、作業療法評価・治療を経験してきた。生活行為向上マネジメント基礎研修修了。			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>2年次の最後から3年次にかけて行われる臨床実習では、それまでに学習した専門基礎科目・専門科目の内容を踏まえた知識・技術の統合が実践的な場で図られる。また、専門職業人の適性・態度と一社会人としての基礎力(リテラシーとコンピテンシー)が問われることとなる。本科目ではこれらの臨床能力を高めるため、生活行為向上マネジメントツール(MTDLP)の学習と演習、事例を通じた統合と解釈やクリニカルリーズニングの演習などを通して、知識・技術・態度の向上と統合の助けを行っていく。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>レポート課題66%、筆記試験30%、平常点(準備、態度)4%で評定する。</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>■教科書: 配布資料、標準作業療法学 専門分野 作業療法臨床実習とケーススタディ [第2版] (医学書院)、OT症例レポート赤ペン添削 ビフォー&amp;アフター (羊土社)</p> <p>■参考書: 作業療法評価学や身体障害治療学・老年期障害治療学などで利用する教科書や配布資料、作業療法マニュアル66 生活行為向上マネジメント [改訂第3版] (一般社団法人日本作業療法士協会)</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>基本的に次の通り。 【事前学習】課題内容を確認し、医学的情報の確認、観察内容の言語化、考察・クリニカルリーズニング内容の言語化などを進める。 【事後学習】資料整理と復習。教員からのフィードバック内容や学生同士での協議内容を要点整理し、記録を行う。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題を明示するため、予め予習しておくこと。課題内容は、臨床実習での観察記録等のレポート課題の遂行能力を高めるものとなる。</li> <li>・ 服装や身だしなみに関しては臨床実習に準ずるため、KC忘れの場合は、授業の聴講はできるが実技には参加できない。</li> </ul>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	①MTDLPについて説明できる。	教科書、配布資料	【事前学習】シラバス内容を確認しておく。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)	
		各コマにおける授業予定	生活行為向上マネジメントツール(MTDLP)概要 MTDLPとは?—生活行為向上マネジメントの概要を理解する。 事例を通してMTDLPの使用方法を確認する。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	①MTDLPについて説明できる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回の学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)	
		各コマにおける授業予定	MTDLPの活用 事例を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングを行うために必要なMTDLPの活用方法を確認する。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	①MTDLPについて説明できる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)	
		各コマにおける授業予定	MTDLPの活用 事例を通して、目標設定や介入プログラム立案に必要なMTDLPの活用方法を確認する。			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	②MTDLPを使って事例情報を整理できる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)	
		各コマにおける授業予定	MTDLP演習 事例演習を通して、MTDLPの利用方法を理解し、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	②MTDLPを使って事例情報を整理できる。	教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)	
		各コマにおける授業予定	MTDLP演習 事例演習を通して、MTDLPの利用方法を理解し、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	②MTDLPを使って事例情報を整理できる。		教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
	各コマにおける授業予定	MTDLP演習 事例演習を通して、MTDLPの利用方法を理解し、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。			
第7回	授業を通じての到達目標	③MTDLPを使って事例の目標設定や介入プログラム立案ができる。		教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
	各コマにおける授業予定	MTDLP演習 事例演習を通して、目標設定の練習、介入プログラム立案の練習を行う。			
第8回	授業を通じての到達目標	③MTDLPを使って事例の目標設定や介入プログラム立案ができる。		教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
	各コマにおける授業予定	MTDLP演習 事例演習を通して、目標設定の練習、介入プログラム立案の練習を行う。			
第9回	授業を通じての到達目標	③MTDLPを使って事例の目標設定や介入プログラム立案ができる。		教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
	各コマにおける授業予定	MTDLP演習 事例演習を通して、目標設定の練習、介入プログラム立案の練習を行う。			
第10回	授業を通じての到達目標	④MTDLPを使ってOTの臨床思考過程を他者に説明できる。		教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。発表内容の再確認(30分) 【事後学習】発表後のフィードバックを受けた振り返り。(30分)
	各コマにおける授業予定	MTDLP演習(クリニカルリーズニング演習) 模擬的にインフォームドコンセント実施場面を作り、OTの臨床思考過程をMTDLPを使って他者に説明する。			
第11回	授業を通じての到達目標	⑤事例情報を整理できる。		教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
	各コマにおける授業予定	事例演習 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。			
第12回	授業を通じての到達目標	⑤事例情報を整理できる。		教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
	各コマにおける授業予定	事例演習 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。			
第13回	授業を通じての到達目標	⑥事例の目標設定や介入プログラム立案ができる。		教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
	各コマにおける授業予定	事例演習 事例演習を通して、目標設定や介入プログラム立案の練習を行う。			
第14回	授業を通じての到達目標	⑥事例の目標設定や介入プログラム立案ができる。		教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分)
	各コマにおける授業予定	事例演習 事例演習を通して、目標設定や介入プログラム立案の練習を行う。			
第15回	授業を通じての到達目標	⑦OTの臨床思考過程を他者に説明できる。		教科書、配布資料	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(50分) 【最終課題】最終事例レポート課題 →最終回の日に出す
	各コマにおける授業予定	事例演習 事例演習を通して、臨床思考過程を他者に説明できる形に文書化し、まとめる練習を行う。			